



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月14日

上場会社名 株式会社ジー・テイスト 上場取引所 東
 コード番号 2694 URL <https://g-taste.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)阿久津 貴史
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)稲角 好宣 TEL 052-910-1729
 四半期報告書提出予定日 2019年8月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	6,847	24.8	35	—	57	—	△50	—
2019年3月期第1四半期	5,488	△11.3	△14	—	△14	—	△188	—

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 △50百万円(—%) 2019年3月期第1四半期 △188百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	△0.26	—
2019年3月期第1四半期	△0.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	21,836	8,589	39.1
2019年3月期	22,425	8,733	38.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 8,547百万円 2019年3月期 8,693百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	0.50	0.50
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,231	9.8	567	255.0	529	99.0	23	—	0.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
 新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名） : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	197,051,738株	2019年3月期	197,051,738株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	5,544,275株	2019年3月期	5,544,275株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	191,507,463株	2019年3月期1Q	191,341,248株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
2. 2020年3月期の期末配当予想につきましては、事業環境の先行きが不透明であることから現時点では未定とし、業績等を総合勘案いたしました上で速やかに開示するものいたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善などが続き、景気は緩やかな回復基調が続いているものの、米中貿易摩擦など海外の政治・経済情勢の不確実性から先行きの不透明感が一層強まっている状況にあります。

当業界におきましては、依然として消費者の強い節約志向に加え、労働力不足による人件費の上昇・原材料価格の高騰などにより、引き続き極めて厳しい経営環境が続いております。

こうした中、当社グループでは、グループ全体としてQSCの強化を図り、さらに外食事業においては、安心、安全でおお客様にご満足頂ける商品提供への取り組み強化と併せ、ブランド力が高い業態への業態転換、新規出店やFC加盟開発の強化に努めてまいりました。

当社の主要外食業態の状況といたしまして、焼肉事業においては当第1四半期連結累計期間においても、引き続き堅調に推移いたしました。同期間において、国産牛焼肉食べ放題「肉匠坂井」業態を直営2店舗、FC2店舗出店し、6月末現在37店舗（直営29店舗、FC8店舗）となり、計画通り、順調にその店舗数を伸ばしてきております。今後も積極出店を継続させるとともに、YouTubeを利用したメディア戦略等にも取り組み、更におお客様にご満足頂ける業態確立を目指していくことで、「焼肉屋さかい」とともに、焼肉事業を当社の主力事業として注力してまいります。

また、前連結会計年度において、M&Aにより子会社となった株式会社壁の穴では、有名シェフとのコラボレーションや、虎杖浜のたらこ、国産アサリ、淡路島の天然しらすなど、食材見直しによる顧客満足向上へ取り組んだほか、株式会社テンフォーでは、北海道×三重のコラボピザ（花咲ガニ×松阪牛）などの新商品の提供と併せ、従来より親しまれているメニューの復刻を行うなど、各社においては、従来からの顧客に向けた満足度向上と併せ、新規顧客獲得に注力を行ってまいりました結果、特に堅調に推移したことにより、当社グループの業績に大きく寄与することになりました。

当第1四半期連結累計期間における当グループの直営店舗数は、契約期間満了、不採算店の整理に伴い12店舗を閉店したものの、業態転換を8店舗（焼肉業態2店舗、ファストフード業態4店舗、寿司業態1店舗、レストラン業態1店舗）、新規出店3店舗（ファストフード業態1店舗、レストラン業態1店舗、FCからの買取1店舗）を実施し、428店舗となりました。なお、FC253店舗を加えた総店舗数は計681店舗となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間におきましては、売上高68億47百万円（前年同期比24.8%増）、営業利益35百万円（前年同期は営業損失14百万円）、経常利益57百万円（前年同期は経常損失14百万円）、繰延税金資産の取り崩しによる法人税等調整額79百万円の計上等により、親会社株主に帰属する四半期純損失50百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失1億88百万円）となりました。

なお、当社グループは「外食事業」の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産額は、218億36百万円となり、前連結会計年度末と比較し、5億89百万円減少いたしました。主な要因は、現金及び預金が減少したことによるものであります。

負債総額は、132億46百万円となり、前連結会計年度末と比較し、4億45百万円減少いたしました。主な要因は、買掛金、未払法人税等、その他（流動負債）の減少によるものであります。

純資産額は、85億89百万円となり、前連結会計年度末と比較し、1億43百万円減少いたしました。主な要因は、配当金の支払いによる利益剰余金の減少及び親会社株主に帰属する四半期純損失の計上によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月15日公表の通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,464,057	5,067,531
受取手形及び売掛金	393,301	358,706
商品及び製品	87,581	106,647
仕掛品	4,285	3,309
原材料及び貯蔵品	295,997	288,061
その他	825,471	680,193
貸倒引当金	△13,314	△12,920
流動資産合計	7,057,381	6,491,529
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,680,249	4,839,419
土地	4,215,419	4,215,419
その他(純額)	636,148	598,618
有形固定資産合計	9,531,818	9,653,457
無形固定資産		
のれん	1,313,753	1,277,600
その他	166,952	177,697
無形固定資産合計	1,480,705	1,455,298
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,299,162	3,258,569
その他	1,484,790	1,401,027
貸倒引当金	△428,430	△423,597
投資その他の資産合計	4,355,521	4,235,999
固定資産合計	15,368,045	15,344,755
資産合計	22,425,426	21,836,284
負債の部		
流動負債		
買掛金	960,321	795,480
短期借入金	300,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	940,980	1,010,457
1年内償還予定の社債	908,000	718,000
1年内償還予定の新株予約権付社債	1,994,477	1,995,901
未払法人税等	106,848	23,840
引当金	123,962	84,846
資産除去債務	83,970	42,899
その他	1,995,724	1,884,955
流動負債合計	7,414,285	6,856,380
固定負債		
社債	1,718,000	1,638,000
長期借入金	2,952,238	3,154,425
関係会社長期借入金	15,760	15,760
引当金	431	575
退職給付に係る負債	98,536	92,286
資産除去債務	951,217	958,186
その他	541,943	531,378
固定負債合計	6,278,127	6,390,612
負債合計	13,692,412	13,246,993

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	8,809,823	8,809,823
利益剰余金	577,836	431,946
自己株式	△793,613	△793,613
株主資本合計	8,694,046	8,548,155
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△376	△311
その他の包括利益累計額合計	△376	△311
新株予約権	39,344	41,447
純資産合計	8,733,013	8,589,291
負債純資産合計	22,425,426	21,836,284

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	5,488,529	6,847,402
売上原価	1,776,179	2,164,478
売上総利益	3,712,350	4,682,923
販売費及び一般管理費	3,727,274	4,647,105
営業利益又は営業損失(△)	△14,923	35,818
営業外収益		
受取利息	1,668	1,820
受取配当金	439	516
業務受託料	14,362	13,514
受取解約金	-	6,250
受取保険金	7,630	33,803
為替差益	9,043	-
その他	4,174	7,156
営業外収益合計	37,319	63,061
営業外費用		
支払利息	8,162	13,791
貸倒引当金繰入額	3,315	△4,077
支払手数料	15,125	15,125
その他	9,911	16,543
営業外費用合計	36,515	41,382
経常利益又は経常損失(△)	△14,119	57,496
特別利益		
固定資産売却益	18	-
特別利益合計	18	-
特別損失		
固定資産除却損	1,195	-
店舗閉鎖損失	4,458	12
店舗閉鎖損失引当金繰入額	111,372	1,242
減損損失	56,979	1,952
特別損失合計	174,006	3,208
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△188,107	54,288
法人税、住民税及び事業税	14,684	24,905
法人税等調整額	△14,072	79,519
法人税等合計	612	104,425
四半期純損失(△)	△188,719	△50,137
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△188,719	△50,137

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純損失(△)	△188,719	△50,137
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	-	64
その他の包括利益合計	-	64
四半期包括利益	△188,719	△50,072
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△188,719	△50,072
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

重要な事業の譲受 (取得による企業結合)

当社は、2019年6月28日付で、株式会社エムグラントフードサービスのステーキハンバーグ&サラダバーけん事業を譲受けることを決定し、2019年7月1日付で事業の譲受を実行いたしました。

1. 企業結合の概要

(1) 相手先企業の名称及び取得した事業

相手先企業の名称 株式会社エムグラントフードサービス

事業の内容 ステーキハンバーグ&サラダバーけん事業

(2) 企業結合を行った主な理由

当社グループ内の外食事業におけるステーキ事業の拡大を図るため、株式会社エムグラントフードサービスのステーキハンバーグ&サラダバーけん事業を譲り受けることといたしました。

(3) 企業結合日

2019年7月1日

(4) 企業結合の法的形式

事業譲受

(5) 結合後企業の名称

株式会社ジー・テイスト

(6) 取得企業を決定するに至った主な根拠

現金を対価とする事業譲受であるためであります。

2. 取得した事業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳 (消費税等込)

取得の対価 (現金) 50,000千円

取得原価 50,000千円

3. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間又は負ののれん発生益の金額及び発生原因

現時点では確定しておりません。

4. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。

重要な事業の譲受 (取得による企業結合) 及び貸付

2019年5月10日付で合弁会社 (「株式会社ふらんす亭」) を設立いたしました (資本金: 1,000千円、当社議決権割合45%)、2019年6月28日付の当社の取締役会において、同社が株式会社フードデザインのふらんす亭事業を譲受けることを決定し、同年7月1日付で事業の譲受けを実行しております。

また、2019年6月28日付の当社の取締役会において、当該事業譲受に際し、取得代価及びふらんす亭事業の運転資金として130,000千円を同社に貸付けることを決定し、同年7月1日付で貸付けを実行しております。

なお、実質的支配力基準により、同社は第2四半期連結会計期間より連結子会社に該当することとなりました。

1. 企業結合の概要

(1) 相手先企業の名称及び取得した事業

相手先企業の名称 株式会社フードデザイン

事業の内容 ふらんす亭事業

(2) 企業結合を行った主な理由

当社グループ内の外食事業におけるステーキ事業の拡大を図るため、株式会社フードデザインのふらんす亭事業を譲り受けることといたしました。

(3) 企業結合日

2019年7月1日

- (4) 企業結合の法的形式
事業譲受
- (5) 結合後企業の名称
株式会社ふらんす亭
- (6) 取得企業を決定するに至った主な根拠
現金を対価とする事業譲受であるためであります。
- (7) その他
株式会社ふらんす亭に対する資金の貸し付け
 - ①資金使途 ふらんす亭事業の譲受代価及びふらんす亭事業の運転資金
 - ②貸付金額 130,000千円
 - ③貸付日 2019年7月1日
 - ④返済期日 2024年12月末日
 - ⑤利率 年3.0%

2. 取得した事業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳（消費税等込）

取得の対価（現金）	68,000千円
取得原価	68,000千円

3. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間又は負ののれん発生益の金額及び発生原因
現時点では確定しておりません。

4. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳
現時点では確定しておりません。